

## 響灘火力発電所（仮称）建設事業環境影響評価方法書に対する北九州市長意見

### 1 水質の環境影響評価について

排水口の位置、放流方法を具体化させた上で、信頼性の高い環境影響評価を行うこと。

また、水質の予測手法については、選定する予測式の前提条件及び本事業への適用の妥当性を検証し、その検証結果を準備書へ反映させること。

### 2 温室効果ガスの排出削減について

(1) 本計画では熱効率の高い最新鋭の発電技術を採用することとしているが、発電技術の革新スピードは非常に早いため、その時点で実用化されている熱効率の高い最新技術の採用を検討すること。

(2) より熱効率を高めるため、近隣企業への蒸気の供給などについて検討すること。

(3) 国の温暖化対策の目標・計画と整合性のある電力事業者による二酸化炭素排出削減に取り組む枠組の構築に発電事業者として可能な限り取り組むとともに、当該枠組が今後構築された際には、当該枠組の下で確実に二酸化炭素排出削減に取り組むこと。

(4) 本市の低炭素社会実現に向けた計画に沿った事業となるよう努めること。

### 3 水蒸気白煙の環境影響評価について

冷却塔から放出される水蒸気白煙については、猛禽類への影響も評価対象に加えることを検討すること。

また、冷却塔に加えて、煙突からの水蒸気白煙の影響についても、予測の対象とすることを検討すること。